

まえがき

核家族化や、近隣との人間関係が希薄化している中で、乳幼児の多くは家庭で保育されており、子育てに対する不安や悩みなどを抱えながら孤立して子育てをしている親が増えています。その親たちが子育ての悩みや育児について気軽に、身近に相談できる人や場所などを見つけることがなかなか難しい状況にあります。

こうした家庭で子育てをしている親の孤立感や閉塞感を解消し、子育てへの負担感の軽減を図り、安心して子どもを産み育てられる地域にするためには、地域のいろいろな状況や事情などを踏まえながら、地域の人たちによる子育て支援活動を広めていく必要があります。

そこで、財団法人あしたの日本を創る協会では、子育て支援に取り組む地域活動を全国的に広めるために、平成 17 年から「少子化に対応する地域活動推進事業」(内閣府委嘱事業)を進め、これから子育て支援活動に取り組もうとしている集団が子育て支援活動のあり方を学ぶために、「子育て支援活動モデル集団の開設」や「子育て支援研究集会の開催」等を行ってきました。

この冊子は、その事業の一環として地域における子育て支援活動の参考にさせていただくために「子育て支援活動モデル集団」の活動事例をまとめたものです。子育て支援活動モデル集団は、平成 17 年度に 24 集団と平成 18 年度に 24 集団の 48 集団を開設してきました。その中から 10 集団を選び、現地調査を行い、活動内容をまとめたものです。

事例調査で訪れた先々では、子育てを少しでも手助けしたいとの篤い思いをもって、活動されている元気な人たちに接することができました。これらの方々から活動に対する思いの数々と示唆に富んだお話を伺うことができました。事例調査でご協力いただきましたみなさんにこの場をお借りしてお礼申し上げます。

ここで取り上げた事例の中で「NPO 法人あきた子どもネット」(秋田市)は、子育て支援団体が活動に必要な情報を入手するための窓口としての機能を果たしており、「NPO 法人みやぎ・せんだい子どもの丘」(仙台市)は、指定管理者として児童館を管理運営している先駆的な事例です。「ビーンズ」(東京都小平市)も先駆的に、親子が一緒に成長するプレイセンターに取り組み、「NPO 法人子ども達の環境を考えるひこうせん」(岡山県備前市)もノーバディーズ・パーフェクトプログラム(カナダで開発された親教育プログラム)に取り組むとともに、子育て支援活動の関係者をつなげ、新たな活動につなげていくネットワーク化を進めています。「子育て支援の会ひらがなくらぶ」(浜松市)も転勤家族のためのプログラムや父親のための子育て講座などのアイデアを次々と企画し、さまざまな活動をしています。

「子育て応援Seed」(秋田市)や「胆江地域子育てサポートネットワークわらしゃんど」(岩手県奥州市)では保育士が活躍されており、「コロコロおはなしの会」(静岡県富士市)でも保育士が新たに加わるなど、地域の人材を活かして活動しています。「NPO 法人子育て広場きらら」(東京都小平市)では主任児童委員の協力がみられ、「子育てサークル

ひまわり」(神戸市須磨区)では婦人会の手助けがあるなど、地域との連携が上手く図られています。

財団法人あしたの日本を創る協会では、乳幼児を抱えている親に対する子育て支援の重要性が増していることから、今後とも「地域ぐるみで子育て支援に取り組む地域活動」を全国に広めたいと考えています。ここで取り上げた活動事例には、実際に地域で取り組まれている子育て支援活動の知恵や工夫が紹介されています。この冊子が、地域において地域住民や地域集団が子育て支援に取り組む活動の参考にしていただければ幸いです。

この活動事例調査報告書の作成に当たっては、専門委員会(委員長・石井久雄明治学院大学助教授)を設け、専門委員のみなさんに活動事例の選定から調査、執筆、編集をお願いし、忙しい中、事例調査に東奔西走していただきました。ひとえに専門委員のご尽力で、活動事例集としてまとめることができました。お礼申し上げます。

なお専門委員は下記のみなさんをお願いしました。

子育て支援活動調査専門委員会

委員長 石井 久雄・明治学院大学助教授

委員 角替 弘規・桐蔭横浜大学助教授

委員 渡辺 恵 ・明治学院大学非常勤講師

委員 遠藤 宏美・明治学院大学非常勤講師

委員 丹治 恭子・筑波大学大学院博士課程人間総合科学研究科

委員 相良 亜希・筑波大学大学院博士課程人間総合科学研究科

平成 19 年 3 月

財団法人あしたの日本を創る協会